

・

群馬県と長野県の県境に近い二度上峠は、標高約 1,390 メートル。高崎市街地から榛名山麓を抜け、旧倉渕村の権田交差点から県道 54 号を上り、七十ものカーブを越えた先にあります。峠に立つと、それまで山に囲まれていた視界が一気に開け、浅間山と広大な浅間高原が眼前に広がります。この写真は、そこから浅間山の右手、北西方向を望んだものです。

手前右に大きく横たわる、なだらかな山容は四阿山（あずまやさん）です。そして注目したいのが、その左奥、青い霞の向こうに浮かぶ北アルプスの峰々です。中央付近には、二つの鋭いピークが並んだ特徴的な「双耳峰」が見えます。二度上峠からの方位と山容を照合すると、これは後立山連峰を代表する鹿島槍ヶ岳（かしまやりがたけ）とみて、まず間違いありません。標高 2,889 メートルの南峰と 2,842 メートルの北峰がつくる独特の姿は、遠く離れていてもよい目印になります。

二度上峠から鹿島槍ヶ岳までは直線でおよそ 80 キロメートル。これほど離れていても、途中の山々に完全には遮られず、山頂部への見通し線があることを、この写真が実際に示しています。撮影した夏の朝は湿度が高く、北アルプスはかなり霞んでいましたが、それでも双耳峰を確認することができました。空気が澄み、雪をまとった晩秋から冬ならば、さらに鮮明な後立山連峰を望めることでしょう。浅間高原のはるか彼方に北アルプスまで見渡せることも、二度上峠ならではの雄大な眺望です。

（2026 年 8 月下旬／群馬県二度上峠）

